

提案名	三菱地所ホーム『サスティナブル 2×4 住宅』国産材化推進プロジェクト	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	三菱地所ホーム株式会社	種別	システム提案
構造	木造住宅（枠組壁工法）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

三菱地所グループでは基本使命に「地球環境への配慮」を掲げ、環境負荷低減に取り組む姿勢を明確にし、真に価値ある街づくり、住まいづくりに取り組んでいる。

その中で、三菱地所ホームでは、「世代を超えて末永く快適に住み継がれていく住まい」を設計思想に置き、住む人にやさしい、街にやさしい、地球にやさしい住まいづくりを提唱しており、断熱性、耐震性などあらゆる面で高性能な2×4工法をさらに進化させるとともに、長期のサポート体制を確立し、低炭素社会実現に向けて、長寿命で省エネ、そして快適な「真に価値ある住まい」の供給を行ってきた。

また、利用可能な人工林が充実しつつある我が国の森林資源の適切な整備や保全に資するため、輸入材を国産材へ転換する取組みを進めてきており、現在では土台・大引・構造用面材の国産材利用を標準仕様とし、外来工法でありながら構造材について**国産化率約 35%を実現**している。

さらには、三菱地所グループでは、CO₂吸収源として大きな役割を果たす我が国の森林資源への関心を高める活動にも積極的に取り組んでいる。その一環としてグループ内の社員や家族、丸の内エリアで働く人を主な対象に、都市と農山村をつなぐ「**空と土プロジェクト**」を2008年から実施しており、間伐や開墾などの体験ツアーを通じて都市と農山村が抱える問題や循環型社会形成の重要性についての認識を深める活動を行い、山梨県とも連携して県有林の有効利用を模索してきた。



『空と土プロジェクト』

本提案では、循環型社会形成の一環としての国産材利用、中でも大きな割合を占める間伐材について現状抱える課題を探る中から、**使用用途が少なく利用促進の必要性が極めて高い小径木間伐材**に焦点を当て、2×4工法において小径木間伐材を積極的に採用していくこととした。国産材利用は木造軸組工法の住宅が中心であるが、外来工法ではあるが木造住宅におけるシェアの2割を占めている2×4工法住宅における国産材利用を推進していくことによって、森林資源の適切な整備や保全を促進させ、木造住宅全体として国産材利用促進の裾野が広がっていくと考える。

さらに、当社の国産材化推進の取組みによって、三菱地所グループから加工業者、林業者といった川上までの**ネットワーク化**を進める。そして、そこで開発された資材の拡販を通じて2×4住宅を建築する工務店等に対し国産材利用だけでなく、長期優良住宅への取組み全般についても幅広く普及させていく。

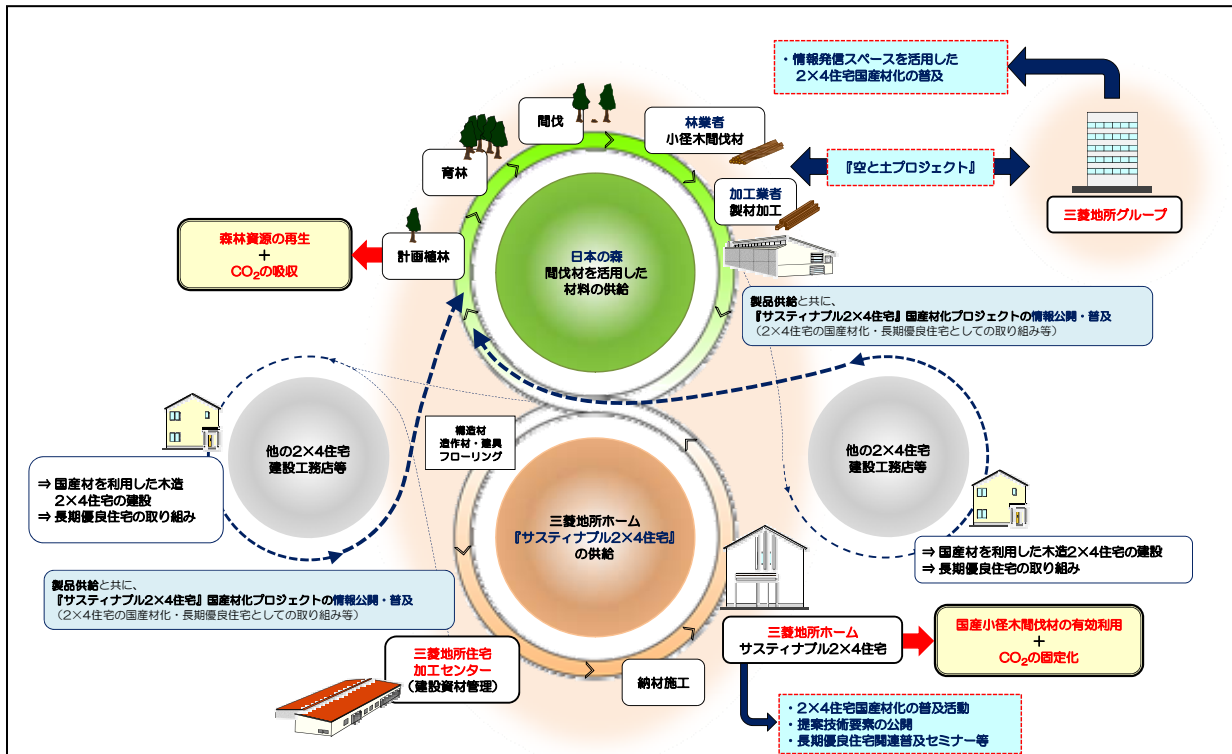
また、前年度採択された「サスティナブル2×4住宅」のコンセプト“①住宅を維持させる仕様と設計手法、②住宅を維持させていくシステム、③普及・啓発への取組み”について内容をさらに整理充実させた。

当社の長期優良住宅に対するこれまでの実績、グループとしての活動を踏まえ、**循環型社会形成に資する良質なストック住宅を供給**する提案を行うものである。

■提案内容

三菱地所ホーム『サスティナブル 2×4 住宅』国産材化推進プロジェクト

木造軸組工法の住宅が主として行っている住宅への国産材利用について、木造住宅全体での国産材利用促進の裾野を広げるため、木造住宅のシェアの約2割を占める木造2×4住宅において小径木間伐材を積極採用することで国産材利用の促進を図る総合提案を行い、長期にわたり循環利用できる良質な木造2×4ストック住宅を供給していく。



1. 2×4住宅の国産材化の普及を目的とした国産小径木間伐材の有効利用

木造 2×4 住宅での国産材化を進めるにあたって、国産材を使用した「枠組壁工法構造用製材」の JAS 認定工場不足という課題がある一方で、使用用途が少ない小径木間伐材が多く余っているという現状も見過ぎすわけにはいかない。そこで、本提案では JAS 認定工場が整備されておりかつ小径木間伐材でも使用が可能で現段階で一般的な 2×4 住宅でも普及が期待できる構造材として、「構造用合板」、「構造用集成材」、「構造用単板積層材」に着目した。野地・外壁・床部の構造用面材、1 階土台・床根太・まぐさ、2・3 階床枠組と床梁に各々の構造材を使用し、**構造材の国産化率 50%以上**を実現させる。

2. トレーサビリティ(計画植林材)の明確化された構造材の使用

国産材使用部位だけでなく、スタッド、たるき等に使用する輸入構造材 (SPF) を含めて持続可能な計画植林された森林から産出された**合法材及び認証材**を使用し、森林資源の適切な整備や保全を行う。

3. 林業・加工業とのネットワーク化

国産材の利用を促進するため、林業・加工業との**ネットワーク化**を三菱地所グループで取り組む。このネットワークにより、林業者・加工業者等の各方面と協力・連携し木造 2×4 住宅でも使用可能で且つ普及が容易な材料の開発のための情報交換を行い、また、2×4 住宅での国産材利用や長期優良住宅全般の取り組みについて公開し、幅広く普及させていく。

4. 間伐体験等を開催することによる国産材普及活動の実施

三菱地所グループが山梨県北杜市増富地区において行っている都市農山村交流活動「空と土プロジェクト」について、国産材利用促進及び循環型社会形成への意識啓発の観点からも、今後とも継続的に実施していく。

先導的事業住宅の住まい手、次世代の子どもたちを含めたより多くの方々に、国産材の現状や普及の必要性を理解いただき、国産材を使用した住宅を身近なものとして感じていただくことも目的に、国産材を促進するネットワークの協力も得ながら、間伐や森林体験、ワークショップ、情報発信などさまざまな企画を立案、実施し、啓発普及活動を行っていく。

■提案者からのコメント

本提案における、2×4 住宅国産材化の推進や長期優良住宅認定基準を上回る仕様や設計手法及びシステムの開発については、今後も継続的に取り組んでゆき様々なかたちで情報を公開していく予定である。これにより、既に工法としての完成度が高い木造枠組壁工法住宅を建設する他の 2×4 住宅メーカー・工務店においても当社が考える「長く住める、そして長く住み続けられる 2×4 住宅」がさらに普及してゆくことを期待する。